

郡上市

市民協働センター

情報誌 第9号
2015年(平成27年)3月号

郡上良良ちゃんも
応援に来て
くれました!!



第6回郡上市
まちづくりフェスティバルを
開催しました!!



第6回まちづくりフェスティバル様子

一人の住民として「住みええ郡上」を実現するために、まず「わたし」や「わしたたち」が自分達のために出来る心地の良い「居場所づくり」を考えることから始め、同じような気持ちを共有できる「なかま」作りをすることから新たな可能性に発展することでしょう。

まちづくりはそのような、人と人との継続した取り組みが世代を超えて繰り返されてきたことによって「住みええ郡上」が今あることを再認識することも大切と語されました。

「みなさん、郡上は住みええですか?」

郡上が“住みええ郡上”であり続けるために

は、多様な人が協力し合いながら継続的、持続的に取り組んでいく「地域づくり・まちづくり」が求められています。そして、住み良さの本質には子ども達が大人になり、また次の世代を育むことの出来る環境、つまり地域の持続可能性が担保されていることが重要であり、住民に信頼関係があり、地域で暮らすことの安心感と愛着や誇りが元になっていると話されました。



岐阜経済大学 菊本舞准教授

活動団体の紹介



かえるっこくらぶ発表



かえるっこくらぶでは、親子でリトミック・ヨガ・自然体験等の活動を通し、お母さんたちが子育てを楽しみながらサークル活動を行っています。当日は、地域で伝承されてきたわらべうたを井上博斗先生と一緒に披露し、笑顔いっぱいの親子に会場全体がほっこりと和みました。

八幡町日吉神社で開催されている「参道市」は、地域の活性化を目的として始まりました。おもに野菜や果物、リサイクル品、昔懐かしいおもちゃ等を販売しています。また、書道や短歌等の作品展示コーナーや、小さなお子様が楽しめるコーナーもあります。毎回いろいろな趣向を凝らし、子どもからお年寄りまで楽しめる「市」となっています。



参道市実行委員会発表

GOOD*郡上プロジェクト



GOOD*郡上プロジェクトは、まちづくりに市民のアイデアを取り入れ、それを市民協働の力で実現しようという企画で、今回で3回目の取り組みとなりました。

今から市内の中高生を対象として実施し、「自分たちのまちの課題と向き合あう」をテーマに、生徒から課題解決のアイデアを募集しました。

全体で、208名、79件の提案があり、その中から書類選考を通過した7提案がまちづくりフェスティバル当日に発表されました。



『観光を楽しく。スマートフォンを使った観光』

(提案者) 村瀬 有海さん

郡上の魅力をより多くの人に発信し、観光客の皆さんに、より楽しんでもらうためにフォトランナー（スタンプラリーの写真版）を行う。撮影した写真を郡上市HPに掲載し住民や観光客の人々に投票してもらいランキング形式にする。



『長良川鉄道の観光鉄道としての役割の強化』

(提案者) 青木 宏斗さん

長良川鉄道の利用者が減少しているが、美濃白鳥～北濃間で「レールマウンテンバイク」ができるようになることで、地域の活性化を狙う。また、引退車両を再利用しサイクリングトレインとして専用車両を確保する。



『観光客が増えるような魅力のある鮎料理』

(提案者) 松本 亜美さん・仲上 風花さん

金子 由季さん・鷺見 萌花さん・和田 聖奈さん

年間を通してより観光客が楽しめるように、食べ歩きができる手軽なもの（郡上の鮎や野菜を使った鮎カルツォーネ）を提案する。



『若い釣り人を増やそう』

(提案者)細江 太平さん・安田 竜馬さん

澤崎 圭伸さん・石田 凌也さん・三浦 啓輔さん

郡上の魅力の一つである釣りをする若者が減ってきてている。釣りは経済効果も高いため参加者を中高生とした鮎釣り大会を実施したい。



『郡上鳥獣自然パークプロジェクト』

(提案者) 横地 有真さん・井上 穂乃伽さん

足立 紗矢香さん

鳥獣被害が地域の課題となっているが、狩猟や防護柵による対策だけでは十分でない。鳥獣の食料となる木の実や果実のなる樹木を植え、人里に下りてこない森を作る。その森を人と動物が共生できるアウトドアテーマパークとして提供する。

『郡上市を活性化させるために

「足水コーナー」を設置する』

(提案者) 近藤 圭馬さん

観光客に、郡上の川と水の魅力にふれてもらう機会として、観光客が集まる場所により楽しく観光をしてもらうために石臼や郡上産木材を使い、足水コーナーを設置する。



『障がい者が観光を楽しめるような

まちづくりをここ郡上から』

(提案者) 田代 亜由美さん・田中 友里絵さん

町中のバリアフリーが進んでいないため観光に訪れる障がいの方たちは不便だと感じることが多いのではないかと考えた。そこで、車イスも楽しめるように盆踊り大会を行うことを提案する。

今回、入賞とはならなかったアイデアを含め、中高生からは様々な熱意ある課題解決の提案をいただきました。このことは、子ども達が郡上を愛し、誇りを持っていることの表れであると共に、郡上の未来を真摯に考えててくれている結果だと感じました。

今後は、このアイデアをいかに具現化するかという宿題が私達”郡上の人”に託されており、そのためには市内の様々な団体や企業と共に市民協働で実現を進めていかなければなりません。

お知らせ



1月27日(火)

復興庁の委託事業を受けた
(株)日本経済研究所から「東北の復興に向けた市民協働モデル調査事業」として2名の研究員が来訪され、上村運営委員長、市企画課担当者、明宝サブセンターの担当者が郡上市の市民協働の取り組みについてインタビューを受けました。



私達に託されたリレーのバトンは、今度は実現を取り組んでくれるパートナーに確実に渡さなくてはならず責任は重大です。正月に感動を与えた箱根駅伝のように連携のリレーができるようがんばります。

センター長 前田真哉



1月27日(火)

第2回郡上みらい会議



今回のみらい会議は人口減少という未来予測の中で、各グループで個別的小テーマごとに「自分達に出来ること」「だれかにやってもらいたいこと」を話し合いました。限られた時間の中でしたが、時間いっぱいそれぞれの思いを語り合うことができました。もちろん、未来へのゴールはまだまだ遠いですが、多くの市民がそれぞれの立場で、様々な課題について話し合うことが最も重要なのだと思います。

第4回は...

3月24日(火)午後7時から

郡上市総合文化センター

で開催予定です。



2月12日(木)

一宮市市民活動支援センター視察に行ってきました。運営・業務・助成金などについて、たくさんご教示いただきました。

今後のセンターの運営・業務に活かしていくたいと思います。



協働センターの重要なイベント、まちづくりフェスティバルが昨年末に終わり、いよいよ提案された中高生のアイデアを実現していく段階に入っています。

今回、生徒の皆さんから頂いた提案の数は79件、その中から7提案を選考しフェスティバル当日に発表いただきました。選考からは外れた提案もそれぞれユニークで魅力的なものもありましたが、「課題解決力」と「実現可能性」という評価規準で選考した結果となりました。

当日発表されるまでは、まだ”企画・アイデア”という机上のものですが、公に提案されたとたんに、それは生き物のように一人歩きします。それは、そこにこめられた想いやアイデアを「実現したい」という人々の情熱や気持ちに触れるからに他なりません。市民協働の本質である、”人と人との出会いによるミラクル”を、最も分かりやすく皆さんに伝えたいというこのプロジェクトの企画意図もそこにあるます。

市民協働センター

TEL 0575-88-2217

FAX 0575-88-2218

E-mail kyodo-c@gujo-tv.ne.jp

〒501-4607 郡上市大和町徳永 585 番地 郡上市役所 大和庁舎 1階

業務日時：月曜日～金曜日 8:30～17:15 (土・日・祝祭日・12/29～1/3 をのぞく)

※事前にご予約いただければ、平日は 20:00 まで、

土・日曜日は 10:00～17:00 まで対応可能です。